



2018年2月26日

**大型商業施設(パトリア桶川店)における熱源改修事業を中心とした省エネの取り組みが「平成29年度 省エネ大賞(省エネルギーセンター会長賞)」を受賞  
～CO<sub>2</sub>排出量26%削減を達成～**

株式会社新都市ライフホールディングス(本社:東京都新宿区 取締役社長:安達 勝)と日本ファシリティ・ソリューション株式会社(JFS)(本社:東京都品川区 代表取締役社長:柴田 祐亮)は、2018年2月14日(水)、大型商業施設(パトリア桶川店)における熱源改修事業を中心とした省エネルギーへの取り組みにおいて「平成29年度省エネ大賞(省エネルギーセンター会長賞)[省エネ事例部門]」を受賞しました。

■設備の更新概要と受賞の背景

株式会社新都市ライフホールディングスが所有する商業施設であるパトリア桶川店では、空調用熱源設備を始めとする老朽化した各設備の改修の必要に迫られていました。また、改修前(2012年度～2014年度平均)の建物全体の二酸化炭素排出量は3,857t-CO<sub>2</sub>/年となっており、それに対して埼玉県地球温暖化対策推進条例の第二計画期間にあたる2015年度～2019年度の5年間で二酸化炭素排出量を計3,750t削減することが義務付けられました。そこで、新都市ライフホールディングス・日本ファシリティ・ソリューションが協力し、熱源システムの更新を中心とした省エネルギー対策を実施しました。具体的には、部分負荷効率に優れた空冷ヒートポンプチラーの導入、最適運転制御、ポンプ等の高効率化、設定値変更による既設蓄熱槽の蓄放熱量の増強等による熱源システムの高効率化を行いました。さらに、ショーケース類の高効率化や、空調冷熱負荷の削減にも貢献するLED照明の導入といった総合的な対策を行いました。

今回の受賞は、省エネルギー対策の内容や、オーナー・テナント・JFSが密に連携して省エネルギー対策へ取り組めるシステムの構築が他の商業施設へ応用できること等が高く評価されたものです。

■更なる省エネルギーに向けて

建物全体に対する総合的な対策により、パトリア桶川店の2016年度の二酸化炭素排出量を改修前の2012年度～2014年度平均と比較して、約26%(1,006t)削減することができました。引き続き、関係者による定例会議の開催やチューニング等を行い、更なる省エネルギーを目指します。



省エネルギー対策を行ったパトリア桶川店

※省エネ大賞とは

省エネルギー意識の拡大、省エネルギー製品の普及などによる省エネルギー型社会の構築に寄与することを目的とし、一般財団法人省エネルギーセンターが経済産業省の後援を受け主催しているものです。なお、同大賞には「省エネ事例部門」「製品・ビジネスモデル部門」の2部門があります。

以 上